

2024年7月23日

理想の大学生生活を描くワークショップ ～ 多様な学生生活を支援する新システム「UTONE」に求めること ～

東京大学大学総合教育研究センター

「大学での学びを活かして、やりたいことや探求したいことを見つけ、それを未来につなげていってほしい」
—東京大学は、学生の皆さんに対してこのような想いを持って、教育に取り組んでいます。

東京大学では、学生にとってより良い大学となるために、教育のデジタルトランスフォーメーションによる新たな価値創造を目指し、「UTONE」(ユートーン、UTokyo One の略) というシステムの導入を進めています。UTONEでは、学生時代の活動(課外活動なども含む)を記録するポートフォリオ機能を実現することなどが決まっていますが、まだすべての機能が固まっているわけではありません。UTONEでどのような機能を実現するか、学生のみなさんの意見を聴きながら決めていくため、このワークショップを企画しました。学生のニーズや困りごとについて幅広く語り合い、その内容を踏まえてデジタル技術で解決できるものを中心に、より深い対話を行いたいと考えています。

大学での学びは、大学の講義やゼミだけではなく、部活動やサークル、社会活動、留学やインターンシップなどの課外活動もあり、多岐にわたります。このワークショップでは、大学内外での学びや大学生活をより良いものにするために、次の3つの問いについて対話し、UTONEに必要な機能を考えます。

1. 大学生活や、大学卒業後の将来像やキャリアについて、どのような期待や希望を持っていますか？
2. 大学生活をより良くする上で、どのようなシーンで、どのようなニーズ・困りごとがありますか？
3. ニーズ・困りごとに対して、どのような支援を大学に求めていますか？

どうすれば「東京大学」をサイコーの学びの場としていけるのか？ 一緒に考えて、実現させていきましょう。

【ワークショップの開催概要】

- **学生ワークショップ①大学生活におけるニーズや困りごとを広げ、理想の大学生生活のシーンスケッチを描く**
日時：2024年8月20日(火) 14:00～18:00
場所：東京大学駒場Iキャンパス 21 KOMCEE West K303 教室
- **学生ワークショップ②ニーズや困りごとに対して必要な支援を考え、UTONEに必要な機能を構想する**
日時：2024年9月3日(火) 14:00～17:00
場所：東京大学駒場Iキャンパス 21 KOMCEE West K303 教室

※2回連続での参加が望ましいですが、どちらかみのみの参加でも構いません。

【ワークショップの対象者・定員】

東京大学の学生 定員：30名(申し込みが定員を超えた場合には選考を行う場合があります)

- ※ 学年や学部、研究科などは問いません。
- ※ 今回のワークショップは準備の都合から日本語でのコミュニケーションを前提とします。
- ※ ワークショップには、関係する教職員も参加する予定です。

このワークショップは、新学習支援システム「UTONE」の開発・導入に向けて、そのコンセプトを検討するためのものです。参加者には、学生の知見や能力を大学の運営に活かす「オンキャンパスジョブ」の取り組みの一環として謝金を支給します。参加にあたってご確認・ご協力いただく事項がありますので、詳細は参加申込フォームをご参照ください。

【参加申込フォーム】

参加申込フォーム：<https://forms.gle/iZug9r7QH9JmGaA>

※ 学内アクセス限定（ECCS クラウドメールへのサインインが必要）です。



参加申込フォーム QR コード→

【参加申込締切】

2024年8月11日（日）まで

【ワークショップのプログラム案】 ※プログラムは今後変更されることもあります。

- **学生ワークショップ①大学生活におけるニーズや困りごとを上げ、理想の大学生活のシーンスケッチを描く**
 1. ワークショップの目的と問いを共有する
 - ・ イントロダクション、UTONE についての共有
 2. 大学生活におけるニーズや困りごとを上げる
 - ・ ワールドカフェ：大学生活におけるニーズ・困りごとや、どのような情報や支援があるといいかについて、グループに分かれて対話
 3. 理想の将来像や大学生活について聴き合う
 - ・ ストーリーテリング：大学生活や、大学卒業後の将来像やキャリアへの期待や希望について、2人組で聴き合う
 - ・ ワールドカフェ：ストーリーテリングをふまえた上で大学生活における更なるニーズ・困りごとについて、グループに分かれて対話
 4. 理想の大学生活のシーンスケッチを描く
 - ・ クイックプロトタイピング：「理想の大学生活のシーンスケッチ」を1人1枚以上作成
 - ・ 全体共有：各自の「理想の大学生活のシーンスケッチ」を全体で共有
 - ・ クロージング

- **学生ワークショップ②ニーズや困りごとに対して必要な支援を考え、UTONE に必要な機能を構想する**
 1. ワークショップの目的と問いを共有する
 - ・ イントロダクション、学生ワークショップ①の振り返り
 2. ニーズ・困りごとに対して、ほしい情報や支援について広げる
 - ・ ワールドカフェ：ニーズ・困りごとに対して欲しい情報や支援、UTONE に必要な機能について、グループに分かれて対話
 - ・ フィッシュボウル：UTONE に必要な機能について、全体で対話
 - ・ ハーベスト：各自「UTONE に期待すること」を付箋に記載
 - ・ クロージング
 3. アンケートへの回答

【問合せ先】

大学総合教育研究センター教育 DX 推進部門：utone@he.u-tokyo.ac.jp